

多様性への配慮

4ステップ構成で統一

- ! 毎時間同じ構成のため、学びやすい。
- ! 活動場面（ステップ1~4）と本文が明確に区別されているので分かりやすい。

特別支援教育の研究者やカラーユニバーサルデザインの専門家の校閲を受けて作成しているよ。



学習の課題
交通事故は、どのようにすれば防止できるでしょうか。

2 読める・解決する 交通事故の原因を調べ、対策を考えましょう。

1 下の資料から、交通事故の原因を調べましょう。

●歩いているとき (計169件)				●自転車に乗っているとき (計953件)			
歩行者	歩行者	歩行者	歩行者	歩行者	歩行者	歩行者	歩行者
歩行者	歩行者	歩行者	歩行者	歩行者	歩行者	歩行者	歩行者
26	22	10	24	23	214	88	76
76				59	53	242	

2 下の絵の場面ひそむ危険とそれを回避するための対策について、人の行動と環境から考えましょう。

例1 例2

3 深める・伝える 次の事例から、交通事故を防ぐための環境整備について考えましょう。

色覚の多様性に配慮

- ! グラフは色による項目の区別をせず、項目名はグラフ内に記載か引き出し線を用いて記載。基本フォーマットは色数を多用せず、マークなどの色は全章統一。

文節改行・書体

- ! 文節の切れ目で改行しているため、読解しやすい。
- ! 本文は独自に開発したUD教科書体なので読みやすい。

交通事故を防止するためには、学校や地域でのけがの防止と同じように、ひそんでいる危険を予測し、的確な判断をもとに安全に行動することが必要です。また、交通事故を防止するための環境整備や交通ルール作りも必要です。

▲5・6年p.29

個人差への配慮

- ! 個人差を強調して、全ての子どもに自己肯定感を。

また、体が発育する時期や、変化する量には、個人差があります。これまでの自分の体の育ち方や、これからの変化がほかの人とちがっていても、それは自然なことなのです。

解説 個人差

人の体や心は、一人一人ちがいます。このちがいを個人差といいます。

▲3・4年p.30

なり、かつしりとした体つきになります。このように、思春期には、男女の体つきに特ちょうがあらわれてきます。思春期には、体つきのほかにも、変声や、性器の周りの発毛など、さまざまな変化があらわれます。これらの変化の仕方や、あらわれる時期には、個人差があります。

一人一人ちがうんだね。

▲3・4年p.35

心や体が大人へと変化する思春期には、特に、さまざまな経験をすることや、多くの人と関わる必要があります。体の発達と同じように、心の発達にも個人差があります。

自分の気持ちや考えを上手に伝えよう 17ページ

▲5・6年p.7

キャラクター

！ 尊重し合い支え合いながら学ぶ、個性豊かなキャラクター



いつきさん
プログラミングに興味をもっている。



こころさん
歌とダンスが好き。



りんさん
スカートは、はかない。いつか海外に行きたいと思っている。



たくやさん
車いすバスケットボールに夢中。



ラウラさん
ブラジル出身。5才のときに日本に来た。



けんたさん
いつも元気。友達思いで優しい。

性の多様性

！ 「異性」に限定しない表現に変更

！ 資料「性と自分らしさ」を新設

ステップ 2-4 調べる・解決する 心の変化

次のようなことを経験したことや見たことがあったら、表に○を付けましょう。

<p>ほかの人のことが、気になったり好きになったりする。</p>	<p>異性や好きな人と話したいけれど、はずかしい。</p>	<p>からかわれて、異性や好きな人に冷たくしてしまう。</p>	<p>すぐに、女子どうし、男子どうしに分かれる。</p>
----------------------------------	-------------------------------	---------------------------------	------------------------------

気づいたことを書きましょう。

思春期には心にも変化があらわれ、異性など、ほかの人のことが気になったり好きになったりすることがある一方、反発し合うこともあります。このような心の変化の仕方や、変化があらわれる時期には、個人差があります。

性と自分らしさ → 38 ページ

性と自分らしさ

人には、体の性以外にも、いろいろな性の「ものさし」(気持ちや考え方)があります。それらは、一人一人、少しずつちがっていて、組み合わせさせて、わたしたちの「自分らしさ」となっています。

体の性: 生まれたときの体の性

心の性: 自分が思う自分の性

自分らしさ

好きになる性: 好きな人

表現したい性: 服そうや言葉づかいなど

◀ 3・4年 p.38

資料は、SOGIE (ソジー) の考え方に基づいて性の構成要素を示し、性の多様性を表現しています。性の構成要素は全ての人に当てはまる概念なので、誰もが自分のこととして考えることができます。

▲ 3・4年 p.37

共生

！ 共生社会の実現に向けて、わたしができること

ユニバーサルデザインをさがそう

わたしたちの周りには、いろいろな人がくらしています。だれもが事故やけがにあうことなく、安全に暮らしやすいように工夫されたデザインを、ユニバーサルデザインといいます。あなたの地域のユニバーサルデザインをさがしてみましょう。

- はの広い改札口** (東京都江東区)

左の改札口は、車いすを使用している人や、大きな荷物を持っている人も通れる。
- スロープ** (宮城県仙台市)

車いすを使用している人や、足が弱く階段を上りにくい人も利用できる。
- 音さよう式信号機** (東京都千代田区)

信号の変化を音声でも確認できる。
- 道路や横断歩道の点字ブロック** (東京都墨田区)

点字ブロック: 移動する方向や止まる場所を、足のうらやついで確認できる。
- 駅のホームドア** (北海道札幌市)

線路への転落事故を防ぐ。

お手伝いできることはありますか。

こまっている人がいたら、声をかけよう。自分が手伝えないときは、近くの大人に伝えよう。

だれもが安心して生活できる社会

支え合いのためのマーク

外見では分からなくても、周りの人の心配りや手助けが必要とする人がいます。そのような人が安心して安全に生活できるようにするために、さまざまなマークがあります。

- マタニティマーク**: おなかの中に赤ちゃんがいます。
- ヘルプマーク**: 病気や障がいなどがあります。
- ハート・プラスマーク**: 障がいがあります。
- 耳マーク**: 聞こえなかったり、聞こえにくかったりします。
- 筆談マーク**: 文字での会話を必要としています。文字での会話で対応します。
- 盲導犬**: 盲導犬は、特別な訓練を受けて、目が見えない人や見えにくい人が安全に歩けるように助けています。
- 盲導犬**: 盲導犬に声をかけたり、さわったりするのは、だいたい仕事じゃありません。安全に歩けるように助けてください。
- 盲導犬**: 困っている人がいたら、勇気を出して行動してみよう。

ほかどんなマークがあるか、調べてみよう。

▲ 5・6年 p.77

◀ 5・6年 p.26